

# 彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会 平成 24 年度事業報告（案）

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

## 1 彩都のまちづくりの状況

西部地区については、大型集合住宅や宅地の分譲等が進んだこと等により、世帯数、人口が増加し、25 年 3 月末現在、世帯数・人口は、3,646 世帯、10,749 人となっている（参考：24 年 3 月末 3,138 世帯、9,152 人）。居住者は、子育て世代を中心に比較的若い年齢層が多く、25 年 4 月 8 日現在、茨木市の彩都西小学校は 37 学級 1,141 人に、彩都西中学校は 14 学級 389 人となっている（参考：24 年 4 月 9 日 小学校 38 学級 1,155 人、中学校 11 学級 316 人）、箕面市立彩都の丘学園は 25 年 4 月 8 日現在で 16 学級 323 人（参考：24 年 4 月 30 日 10 学級 157 人）となっている。

また、ライフサイエンスパークでは、14 施設が立地（分譲済区画数は全 20 区画中 18 区画）し、バイオ・ライフサイエンス関連の企業や研究施設の集積が一層進んでいる。



中部地区については、（独）都市再生機構が進出予定企業との間で分譲契約を締結し、24 年 6 月に本格造成工事に着手した。併せて大阪府も、岩阪橋梁の本体工事に着手した。



東部地区については、(独)都市再生機構が事業再評価を受け、施行主体となって土地区画整理事業を実施することが困難となった。このため、(独)都市再生機構において、平成22年3月に公表した「彩都東部地区事業見直し検討素案」に基づき、新たな事業協力者探しや地権者の意向把握を行うなど、事業を継承するための取り組みを進めてきた。これを踏まえ、東部地区のまちづくりを検討する場として「彩都東部地区検討会」を設置し、「立地ニーズ調査」、「まちづくりの方向性」、「土地利用の方向性」等の検討を計8回行った。なお、東部地区の事業区域の除外に係る事業計画変更(第5回)については、平成25年1月21日に認可された。

政府が23年12月22日に国際戦略総合特区として指定した「関西イノベーション国際戦略総合特区」では、彩都西部地区のライフサイエンスパーク及び施設導入地区を含む北大阪地区がライフイノベーション(医薬・医療)分野の中核エリアに位置づけられており、24年度、ライフサイエンスパークで新たに1件のプロジェクトの認定がなされた。また、府税をゼロとする府独自の優遇制度が24年12月に、市税をゼロとする箕面市独自の優遇制度が25年3月に施行された。なお、茨木市においても同様の制度を25年4月から施行の予定である。

## 2 主要事業活動項目

### (1) 企画調整活動

#### ① 総会等の開催

会議名	開催日及び主な議題等
総会 第21回	○平成24年5月9日 (報告事項) 彩都事業の進捗状況等について (議案) 平成23年度事業報告及び収支決算について 平成24年度事業計画案及び収支予算案について
幹事会 第24回	○平成24年4月27日 ・ 彩都事業の進捗状況等について ・ 平成23年度事業報告(案)及び収支決算(案)について ・ 平成24年度事業計画案及び収支予算案について
事務局会議 第82回	○平成24年4月13日 ・ 彩都事業の進捗状況について ・ 平成23年度事業報告案及び収支決算案について ・ 平成24年度事業計画案及び収支予算案について
〃 第83回	○平成24年7月6日 ・ 彩都事業の進捗状況等について ・ 「彩都スポーツフェスティバル」の実施について ・ 彩都凸凹たんけん隊の実施について ・ 彩都協議会ウェブサイトの更新について
〃 第84回	○平成24年11月9日 ・ 彩都事業の進捗状況等について ・ 平成25年度事業計画素案及び収支予算素案について
〃 第85回	○平成25年1月11日 ・ 彩都事業の進捗状況について ・ 平成24年度事業報告素案について ・ 平成25年度事業計画素案及び収支予算素案について



② 彩都（国際文化公園都市）懇談会等の開催

会議名	開催日及び主な議題等
2号・3号 委員懇談会	○平成25年2月4日 ・ 彩都事業の進捗状況について ・ 平成24年度事業報告素案について ・ 平成25年度事業計画素案及び収支予算素案について

③ まちづくり関係の調整

〔西部地区関係〕

彩都の良好なまちづくりを推進するために必要な調整や広報の検討などを行った。

〔中部地区関係〕

ライフサイエンス分野やイノベーションな（商品開発型）企業等の研究開発・生産機能等を導入し、拠点整備を図るため、土地区画整理事業及び関連公共施設整備の推進などについて、（独）都市再生機構、大阪府、茨木市、阪急電鉄株等の関係者と調整を行った。

〔東部地区関係〕

（独）都市再生機構の東部地区事業区域除外にかかる事業計画変更を受け、「彩都東部地区検討会」を設置の上、東部地区のまちづくりを検討し、関係者間の調整に努めた。

(2) 広報活動

① 広報誌の発行・配布

広く一般に向けて、彩都の特徴や彩都建設事業の進捗状況等に関する情報を提供するため、広報誌「彩都 Seeing」を発行した。

■ 広報誌「彩都 Seeing」の発行

- ・ 第51号 24年5月 (20,000部)
- ・ 第52号 25年2月 (20,000部)

② インターネットホームページ・パンフレット等による広報活動

彩都建設の理解促進や彩都の知名度向上・浸透を図り、住宅立地・企業誘致を促進するため、インターネットによる情報提供やパンフレットの更新を行った。また、各種イベントに参加し、パンフレットを配布するなど積極的な広報に努めた。

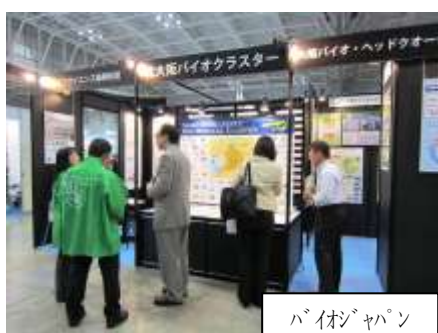
参加した主なイベント名	開催日及び場所
茨木フェスティバル (主催) 茨木フェスティバル協会	24年7月28日・29日 茨木市役所前グラウンド
箕面まつり (主催) 箕面まつり推進協議会	24年7月28日・29日 箕面ときめき広場ほか



### ③ 誘致広報活動の推進

大阪府、茨木市、国際文化公園都市株、(独)都市再生機構及び民間開発事業者で組織する「彩都シンボルゾーン立地推進会議」において、誘致に関する情報の共有化を図るとともに、国際的なバイオ見本市などの各種展示会への参加、シンポジウムの開催等により誘致活動を行った。

参加した主なイベント名	開催日及び場所
第11回国際バイオテクノロジー展／技術会議 (BioTech 2012 = 旧バイオ EXPO)	24年4月25日～27日 東京ビッグサイト
第14回バイोजパン	24年10月10日～12日 パシフィコ横浜
彩都産学官連携シンポジウム	25年1月17日 千里ライフサイエンスセンター



また、「彩都シンボルゾーン立地推進会議」については、25年1月より対象を西部地区の施設導入地区まで広げた「彩都施設立地推進会議」に拡充した。

### (3) 彩都の形成に関する関連施策推進調整事業

#### ① 都市環境デザインの調整

彩都ライフサイエンスパークに新たに建設予定の施設について、都市環境



デザインに係る具体的な協議・調整を実施。また、彩都西部地区及び中部地区における法面等の管理等に係る委託調査を実施した。

■ 都市環境デザイン基本計画デザイン調整会議の開催（25年3月26日）

② ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成

彩都シンボルゾーン誘致支援チーム会議などを通じて誘致活動に努めた。  
また、バイオベンチャーの起業や産学連携による共同研究を創出し、研究者と企業の集積を図るため、ライフサイエンスパークの連携組織「彩都バイオヒルズクラブ」や、市場ニーズに即した技術シーズを発掘して顕彰と情報発信を行う「バイオビジネスアワード JAPAN」に参画した。

■ バイオビジネスアワード JAPAN（22年度～）

- ・主催：バイオビジネスアワード JAPAN 実行委員会  
(大阪医薬品協会、(財)大阪科学技術センター、(株)大阪証券取引所、大阪商工会議所、大阪府、国際文化公園都市(株)、彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会、(財)千里ライフサイエンス振興財団、(財)都市活力研究所)
- ・趣旨：「バイオビジネスコンペ JAPAN」(平成11年度～平成21年度)の後継事業。より市場ニーズに即した技術シーズの発掘を主眼に「顕彰及び情報発信」を行い、北大阪「彩都」を中核とする大阪へのバイオ関連企業の集積を促進する。
- ・概要：「創業シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)疾患別・基盤技術別商談会」(主催：大阪商工会議所、大阪医薬品協会)に参加した技術シーズの中からノミネートされた案件について、プレゼンテーションや製薬企業の研究開発担当者の採点結果などをもとに受賞者を決定し表彰する。受賞案件やノミネート案件については、BioJapanなどにおいてプロモーションの機会を提供する。
- ・25年2月15日 技術シーズ発表会・表彰式開催(於：大阪産業創造館)



③ 自然・文化・学術拠点の形成

市民参加による公園・みどりづくりの検討及び実施

20年度の緑地形成検討ワーキングのモデル提案や22年度に実施した彩都自然教室の活動を踏まえ、23年度から「彩都凸凹たんけん隊」の活動を実施している。この活動では、西部地区の中心を流れる川合裏川と彩都西公園、さらにその周辺の緑化を含めた「みどり空間」を舞台にして、自然素材を活用しながら住民自らが体験し、交流する場づくりを進めており、24年度は、彩都西公園のバタフライガーデンの維持管理や専門家による生き物調査、季節感あふれるものづくり体験活動を実施した。

■ 彩都凸凹たんけん隊の実施状況

実施日	滑動内容	参加人数
第8回 24年 4月28日	川合裏川緑地 ・春の昆虫観察及び専門家による昆虫の棲息調査 彩都西公園 ・バタフライガーデンへの植栽及び維持管理等	42名
第9回 24年 5月26日	川合裏川緑地及び阪大箕面キャンパスの森林 ・自然体験教室 ・専門家による昆虫、水生生物、鳥類の棲息調査	68名
第10回 24年 6月16日	彩都西公園 ・阪大環境サークルGECSによる自然体験及び環境学習 ・バタフライガーデンへの植栽及び維持管理等	28名
第11回 24年 8月 5日	川合裏川緑地（午前の部） ・夏の生き物観察及び昆虫採集 ・専門家による昆虫の棲息調査 彩都西公園（午後の部） ・昆虫標本づくり	午前 37名 午後 30名
第12回 24年 9月22日	彩都西公園 ・竹工作	48名
第13回 24年10月20日	彩都西公園 ・阪大環境サークルGECSによる自然体験及び環境学習	61名
第14回 24年12月 8日	川合裏川緑地 ・季節のリースづくり	60名
第15回 25年3月2日	彩都西公園 ・彩都凸凹リレーマラソンへ向けたかけっこ教室	112名
第16回 25年3月20日	彩都西公園及び川合裏川緑地 ・昆虫のお話と工作、春の昆虫観察会	47名



④ 彩都健康都市構想の具体化促進

彩都内の各種サークル団体、企業、学校等と連携して「彩都健康スポーツフェスティバル」を開催し、彩都健康都市構想の実現にむけて取り組んできた。

■ 彩都健康スポーツフェスティバル

〔主催〕 彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会

〔日時〕 24年6月3日

〔会場〕 彩都西公園

〔内容〕 専門家によるレクレーションスポーツ教室、アスリートによるサッカー教室



彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会 平成24年度収支決算書(案)

[ 自 平成24年4月 1日 ]  
[ 至 平成25年3月31日 ]

[収入の部]

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 引	備 考
通常分担金	32,238,000	32,038,000	-200,000	
	( 4,873,000 )	( 4,873,000 )	( 0 )	大阪府
	( 4,873,000 )	( 4,873,000 )	( 0 )	地元市(茨木市、箕面市)
	( 4,873,000 )	( 4,873,000 )	( 0 )	(独)都市再生機構
	( 14,619,000 )	( 14,619,000 )	( 0 )	彩都(国際文化公園都市)建設民間事業者連絡会
	( 3,000,000 )	( 2,800,000 )	( -200,000 )	規約第6条第2号及び第3号に定めるもの
特別分担金	5,000,000	5,000,000	0	
	( 5,000,000 )	( 5,000,000 )	( 0 )	東部地区方向性検討調査特別分担金 (都市再生機構)
雑 収 入	0	503,033	503,033	預金利息等
繰 越 金	17,136,996	17,136,996	0	前期繰越金
	( 17,136,996 )	( 17,136,996 )	( 0 )	通常分
合 計	54,374,996	54,678,029	303,033	

[支出の部]

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 引	備 考
一般管理費	11,400,000	10,368,689	1,031,311	事務所賃借料、光熱水費、通信運搬費、事務費等
運営事業費	2,800,000	1,640,560	1,159,440	旅費、印刷費、総会等
広報活動費	13,660,000	2,536,800	11,123,200	パンフレット・機関誌の発行、催し・イベントの実施等
懇話会等運営費	100,000	0	100,000	参与会等
関連施策推進 調整事業費	23,960,000	15,848,636	8,111,364	都市環境デザインの調整 ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成 自然・文化・学術拠点の形成 彩都健康都市構想の具体化推進 東部地区方向性検討調査
		( 3,474,000 )		
		( 860,000 )		
		( 1,594,836 )		
		( 1,975,500 )		
		( 7,944,300 )		
予 備 費	2,454,996	0	2,454,996	
合 計	54,374,996	30,394,685	23,980,311	

収 入 合 計	54,678,029 円
－ 支 出 合 計	30,394,685 円
繰 越 金	24,283,344 円



# 監 査 報 告 書

私、監事は、当協議会の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの業務執行状況及び財務状況を監査するため、関係書類について精査いたしました。

監査の結果、業務執行状況に関し、法令若しくは規約に違反する事項はなく、また、収支決算書は適法かつ正確であると認めます。

以 上

平成25年4月16日

彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

監 事 木 本 保 平 ⑩

監 事 向 井 利 明 ⑩

# 彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会 平成 25 年度事業計画（案）

〔 自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日 〕

## 1 25 年度のまちの状況

- ・ 西部地区は、25 年 3 月末現在、人口 10,749 人（3,646 世帯）。24 年度は、彩都みのり保育園の開園、彩都西公園の全面供用開始、駅前での店舗の新規開設など順調にまちづくりが進んでいる。ライフサイエンスパークでは、24 年 4 月に日本赤十字社近畿ブロック血液センターが開設されたことに加え、クマリフトグループの研究・研修施設や、25 年 3 月には㈱ジーンデザインの研究施設が新たに立地するなど、まちの賑わいが増すとともに研究者の増加によりバイオ・ライフサイエンスの拠点形成が一層進展することが期待される。
- ・ 中部地区は、27 年春の業務用地引き渡しを目指して、(独)都市再生機構により造成工事が進められている。

## 2 活動の基本方針

### (1) 広報の推進

彩都ブランド「みどりとみらいのみえる丘」をコンセプトに、西部地区のまちびらきから 10 年を迎えることも踏まえつつ、西部地区箕面市域の供用区域拡大に向けた事業展開などのまちづくりの進展や、まちの魅力について、関係者と連携して最新情報を発信する。

### (2) 拠点性の強化

彩都のまちづくりは、「ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業の拠点」「自然・文化・学術の拠点」を形成することが重要なコンセプトとなっており、その実現に向けた取組を推進する。特に、企業、研究機関の立地促進については、国際戦略総合特区制度や誘致補助制度など、国、大阪府、地元市などの事業、施策との連携を進める。

### (3) 都市環境の維持・向上

彩都の特色を活かし、まちとしての魅力を維持、向上させるための取組を推進する。

## 3 主要事業の概要

### (1) 企画調整活動

#### ① 総会等の開催

協議会の運営に関する重要な事項を審議するため、総会を適宜開催する。

また、総会に付議すべき事項及び総会が議決した事項の執行について審議するため、適宜幹事会を開催する。

さらに、幹事会構成団体の事務担当者で構成する事務局会議を年 4 回程度開催し、協議会活動等に関する情報交換を行う。

#### ② 建設事業委員会等の開催

彩都建設事業を円滑に推進するため、必要に応じ建設事業委員会等を開催する。

#### ③ 部会等の開催

特定の課題について、調査研究や施策推進に資するため、必要に応じ協議

会に設置した部会や検討会を開催する。

#### ④まちづくり関係の調整

- ・ 西部地区については、箕面エリアの供用区域拡大等に向け、必要な調整を行うなど、良好なまちづくりを推進する。
- ・ 中部地区については、土地区画整理事業及び岩阪橋梁など関連公共事業に係る調整を行い、事業推進を図る。
- ・ 東部地区については、「彩都東部地区検討会」における検討結果も踏まえ、東部地区事業の実現に向け、各関係者が果たすべき役割をはじめとする関係者間の協議、調整を行う。

### (2) 広報活動

#### ① 広報誌の発行・配付

彩都の特徴や彩都建設事業の進捗状況等に関する情報を提供するため、広報誌「彩都 Seeing」を発行するほか、沿線への広報強化等を目的に、「OSAKAモノレールプレスつれてって。」による広報を実施する。

(内容:「彩都 Seeing」2回程度、「OSAKAモノレールプレスつれてって。」2回程度など)

#### ② ウェブサイト・パンフレット等による広報活動

彩都建設の理解促進や、彩都の知名度向上・浸透を図るため、インターネットホームページの維持・更新を行うほか、パンフレット等の各種広報物を作成する。また、これら媒体を活用し、関係各者による広報活動とも連携して効果的な広報を行う。

(内容: ウェブサイト「saito.TV」の運営、パンフレットの随時更新、茨木フェスティバル・箕面まつりへの参加など)

#### ③ 誘致広報活動の推進

ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成等に向けて、大阪府、茨木市、箕面市(独)都市再生機構及び民間開発事業者とともに組織する「彩都施設立地推進会議」での情報交換や、国際的なバイオの見本市等への参加によるPRや参加企業へのフォロー、その他各種イベントへの参加などを、関係者と連携協力して行う。

(内容: Biotech、バイオ JAPAN への参加など)

### (3) 彩都の形成に関する関連施策推進調整事業

#### ① 都市環境デザインの調整

中部地区の事業着手や西部地区の供用区域拡大を受け、(独)都市再生機構や開発事業者、立地企業などの2次開発や施設整備に当たり、公民連携による協調的、創造的なまちづくりを進めるための関係者間の『共通の目標・指針』を目指し策定した、「都市環境デザイン基本計画」に基づき、関係者と協議、調整を行う。

(内容: 都市環境デザイン基本デザイン調整会議等の開催、施設開発計画の協議・調整、啓発パンフレットによる周知など)

#### ② ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成

バイオベンチャーの起業や産学連携による共同研究を創出し、研究者と企

業の集積を図るため、ライフサイエンスパークの連携組織「彩都バイオヒルズクラブ」や、市場ニーズに即した技術シーズを発掘し、顕彰及び情報発信を行う「バイオビジネスアワード JAPAN」等に参画する。

また、中部地区の特色、魅力を維持、向上させ、拠点化を図るまちづくりに係る立地企業との連携の検討等を行う。

ライフサイエンスパークについては、関係者が連携して活動を進める。

(内容：彩都バイオヒルズクラブ・バイオビジネスアワード JAPAN への参画、中部地区のまちづくりに係る立地企業との連携の検討など)

### ③自然・文化・学術拠点の形成

豊かな自然環境と快適な都市機能の調和をめざして、彩都西部地区の中心を流れる川合裏川と彩都西公園、さらにその周辺の緑化を含めた「みどり空間」を舞台にして、自然素材を活用しながら住民自らが体験し、交流する場づくりを進める。

(内容：彩都バタフライガーデンの運営等)

### ④彩都健康都市構想の具体化促進

関連機関等と連携して、彩都住民を中心に茨木、箕面両市の住民等が交流し、楽しんで健康づくりを行える各種健康スポーツイベント等を実施し、彩都のPRを兼ねた彩都健康都市構想の実現に向けた取組を実施する。

(内容：彩都凸凹リレーマラソン等の開催)

### ⑤東部地区の事業化に向けた調整

都市再生機構は、東部地区の区域除外（25年1月：第5回事業計画変更）に伴い、新たな施行主体に事業を継承する取り組みを行ってきたが、さらに具体化を進めるため、24年2月に設けた検討会の場において、立地ニーズなど必要となる調査を行ってきた。これらの結果を受け、25年度は事業協力者探しと地権者合意形成が図れるよう、関係者間の協議調整を進める。

彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会 平成25年度収支予算書(案)

〔自 平成25年4月 1日  
至 平成26年3月31日 〕

〔 収 入 の 部 〕

〔単位：円〕

科 目	24年度予算	25年度予算案	備 考
通常分担金	32,238,000	27,628,000	
	( 4,873,000 )	( 4,138,000 )	大阪府
	( 4,873,000 )	( 4,138,000 )	地元市(茨木市、箕面市)
	( 4,873,000 )	( 4,138,000 )	(独)都市再生機構
	( 14,619,000 )	( 12,414,000 )	彩都(国際文化公園都市)建設民間事業者連絡会
	( 3,000,000 )	( 2,800,000 )	規約第6条第2号及び第3号に定めるもの
特別分担金	5,000,000	0	東部地区方向性検討会調査特別分担金 ( (独)都市再生機構 )
雑 収 入	0	0	預金利息等
繰 越 金	17,136,996	24,283,344	前期繰越金
	( 17,136,996 )	( 2,000,000 )	通常分
合 計	54,374,996	51,911,344	

〔 支 出 の 部 〕

〔単位：円〕

科 目	24年度予算	25年度予算案	備 考
一般管理費	11,400,000	13,068,000	事務所賃借料、光熱水費、通信運搬費、事務費等
運営事業費	2,800,000	2,800,000	旅費、印刷費、総会等
広報活動費	13,660,000	10,130,000	パンフレット・機関誌の発行、催し・イベントの実施等
懇話会等運営費	100,000	100,000	参与会等
関連施策推進 調整事業費	23,960,000	23,660,000	都市環境デザインの調整 ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成 自然・文化・学術拠点の形成 彩都健康都市構想の具体化促進 東部地区の事業化に向けた調整 等
予 備 費	2,454,996	2,153,344	
合 計	54,374,996	51,911,344	